

PRIMERGY オプション製品

システム構成図(留意事項編)

サーバ監視ソフト ServerViewについて

サーバ監視ソフトServerViewでは以下のような機能があります。

[Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003/Windows® 2000]

項目	ServerView
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 電源投入/切断スケジュール(一部未サポートモデルあり) パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など)
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス(監視対象サーバ上、管理サーバ上) ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート	
使用メモリ	16 ~ 32MB

サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログオンしていないと表示されません。

ログオンしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。
また、イベントログにて発生を確認することができます。

[Red Hat Enterprise Linux/VMware®]

項目	Linuxサーバ上	監視用Windows端末
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 * Web Extension/ ServerView S2使用による	サーバ状態監視 電源投入 / 切断 スケジュール運転設定 * モデルによる パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など) しきい値マネージャは使用できません。
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート		-
使用メモリ	32MB以上	16 ~ 32MB

*LinuxサーバよりSNMPトラップを受信しての処理となる

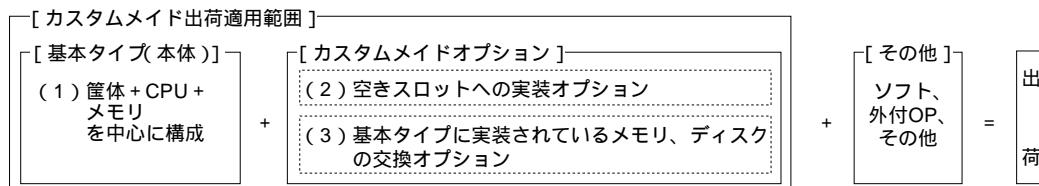
カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、ハードウェアの標準構成をメモリ / ディスク等のオプションごとにお客様の仕様に合わせて追加/変更し、本体に実装して出荷することのできる形態です。

カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について

カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「基本タイプ(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。それ以外の製品に関しては、従来通り、製品単位で出荷されます。



[カスタムメイド適用製品一覧]

(1) 基本タイプ(本体)

ECONEL 100/TX120/TX150 S6/TX300 S4/RX100 S4/RX200 S4/RX300 S4/RX600 S3(SASモデル)/BX620 S4の全タイプが対象となります。
(TX150FT S5/TX200FT S3/オールインワンタイプを除く。)

(2) カスタムメイドオプション：空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く)

2. ディスクレスタイプにおけるカスタムメイド出荷について

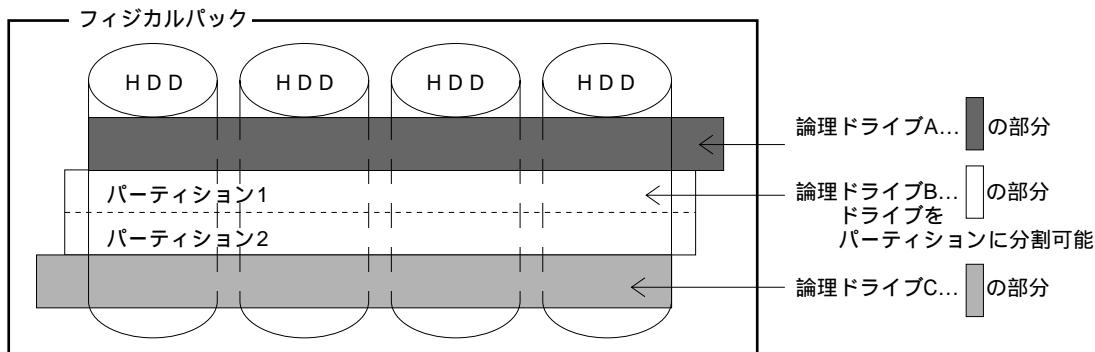
ディスクレスタイプでOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先のハードディスク以外のオプション装置(ハードディスク、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意願います。

システム構成図留意事項

ハードディスク関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

- ・ フィジカルパック · · · · 1つのRAIDを構成する物理的なHDDの集まり。
- ・ 論理ドライブ · · · · OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・ パーティション · · · · OSで設定する論理ドライブを分割したアクセス論理単位。



<構成規則について>

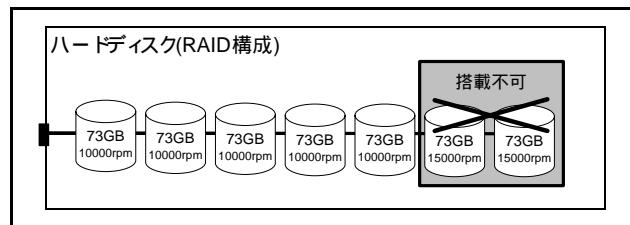
- (1) フィジカルパックは必ず同じ型名のハードディスクユニットで構成してください。
- (2) フィジカルパックを構築する場合、合計サイズが2TBを越えないように設定してください。
論理ドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- (3) 1つのフィジカルパックを構成するハードディスクユニットの台数は以下のとおりです。

• RAID0	(性能向上のために、データを複数ディスクへ分割して書込む方式)	— 2 ~ 32台	[論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の総和]
• RAID1	(信頼性向上のために、ディスクを二重化し同一データを書込む方式)	— 2台	[論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2]
• RAID1+0	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	— 4 ~ 32台 (偶数台のみ構成可能)	[論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2]
• RAID5	(信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書込む方式)	— 3 ~ 32台	[論理ドライブの実効データ容量は(接続したディスク台数 - 1)台分]
• RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し2つのパリティを加えて書込む方式)	— 3 ~ 32台	[論理ドライブの実効データ容量は(接続したディスク台数 - 2)台数]

SCSIハードディスクにおいて1つのフィジカルパックでRAID0/1/0/5を構成する場合は、
ハードディスクユニットの台数は最大16台までとなります。

1台のハードディスクでフィジカルパックを構成することはできません。

- (4) 1つのフィジカルパックを複数の論理ドライブに分割した場合の各論理ドライブのRAIDレベルは同じものしか設定できません。
- (5) 1つのフィジカルパックは必ず、同一のアレイコントローラにつながるハードディスクで構成してください。
- (6) 1つのアレイコントローラで複数のフィジカルパックを設定することができます。但し、ハードディスクユニットは以下の条件を満たす必要があります。
 - ・ フィジカルパックは同型名のハードディスクで構成する。
 - ・ 複数のフィジカルパックを同容量のハードディスクで構成する場合は、すべて同型名のハードディスクで構成する。
- (7) 1つのアレイコントローラで複数の異なるRAIDレベルの設定が可能です。
但し、以下の条件を満たす必要があります。
 - ・ 同一フィジカルパック内の論理ドライブは同一のRAIDレベルとする必要があります。
 - ・ 1つのフィジカルパック内には複数の論理ドライブが作成できます。(最大8個)
- (8) ホットスペアディスクはフィジカルパック中に接続されている同型名のハードディスクで設定して下さい。
- (9) 異なるハードディスクを使用した複数のフィジカルパックが存在する場合にホットスペアディスクを設定する場合は、各々のフィジカルパックに対して同型名のホットスペアディスクを最低1台設定して下さい。
- (10) 1つのアレイコントローラ内で、同容量でかつ回転数の異なるハードディスクを混在させることはできません。



ハードディスクキャビネット / SASアレイコントローラカード/SCSIアレイコントローラカード / SCSIカードの注意事項

ハードディスクキャビネットについて

OSは必ずサーバ本体内蔵ハードディスクにインストールする必要があります。

SASアレイコントローラカード[PG-140G]について

SASアレイコントローラカードはサーバ本体1台につき1枚のみ搭載可能です。

SASアレイコントローラカードに接続可能なハードディスクはサーバ本体内蔵ハードディスクのみです。

サーバ本体内蔵ハードディスクはサーバ標準搭載のオンボードSASあるいはSASコントローラを使用して接続します。

RAID0/1/5において、フィジカルパックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルパックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/
Windows Server® 2003のみサポート)

SASアレイコントローラカード[RX600 S3(SASモデル)標準搭載]について

SASアレイコントローラカードに接続可能なハードディスクはサーバ本体内蔵ハードディスクのみです。

RAID0/1/5において、フィジカルパックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルパックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/
Windows Server® 2003のみサポート)

SASアレイコントローラカード[RX300 S4標準搭載]について

ハードディスクペイに搭載したハードディスクに接続するカードは1枚です。

RAID0/1/5において、フィジカルパックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルパックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/
Windows Server® 2003のみサポート)

オンボードSASコントローラ[TX120/RX100 S4/BX620 S4標準搭載]について

オンボードSASコントローラに接続可能なハードディスクはサーバ本体内蔵ハードディスクのみです。

オンボードSASコントローラでRAIDを構成する場合は、同容量/同回転数のハードディスク2台のみ接続可能です。

オンボードSASコントローラで作成できる論理ドライブは1つのみです。

SASアレイコントローラカード[PG-248B/PG-248C/PG-248CL/PG-248C1]について

ハードディスクペイに搭載したハードディスクに接続するカードは1枚です。

RAID0/1/5において、フィジタルパックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジタルパックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/
Windows Server® 2003のみサポート)

SASコントローラカード[TX150 S6/TX300 S4/RX200 S4標準搭載]

接続可能なハードディスクは、サーバ本体内蔵ハードディスク4台までです。

RAIDを構成する場合は、ハードディスク2台までです。

SASコントローラカードで作成できる論理ドライブは1つのみです。

SASアレイコントローラカード[PG-244C/PG-244C1/PG-244CL]

PRIMERGY SX35接続用のカードです。

RAID0/1/5において、フィジタルパックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジタルパックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/
Windows Server® 2003のみサポート)

SCSIアレイコントローラカード[PG-142E3]について

RAID0/1/5において、フィジタルパックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジタルパックの容量拡張機能が使用可能です。

(Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/
Windows Server® 2003のみサポート)

Linux環境でSCSIアレイコントローラカードを使用する場合は、ディスクアレイの設定、監視のために、別途、監視用のWindows端末が必要になります。

消耗品の扱いについて

以下のアレイコントローラに搭載されているバッテリは消耗品となります。

寿命の際は、お客様による手配交換となりますのでご注意ください。

本寿命は温度環境が25 の場合であり、温度環境によって寿命は変動いたします。

RAS支援サービスによる事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。

消耗品			交換用バッテリー	
品名	型名	寿命	品名	型名
SASアレイコントローラカードのバッテリー	PG-248C / PG-248C1/PG-248CL / PG-244C1 /PG-244CL	約3年	バッテリバックアップユニット	PG-BBU1
SASアレイコントローラカードのバッテリー	PG-244C	約3年	バッテリバックアップユニット	PG-BBU2

システム構成図留意事項

SCSIカード[PG-1281/PG-1301L/PG-2281/PG-2281L]について
 本カード1枚に外付SCSI装置と内蔵SCSI装置を同時に接続することはできません。
 その際は、カードを分けて接続してください。

接続可能なハードディスクキャビネット数について

ハードディスクキャビネット 型名	ECONEL 100	TX120	TX150 S6	TX300 S4	RX100 S4	RX200 S4	RX300 S4	RX600 S3(SAS)	BX620 S4
PRIMERGY SX30 (SCSI)	PG-R1DC7	-	-	-	-	-	-	2	-
PRIMERGY SX35 (SAS)	PG-R2DC1	-	-	-	2	-	1	1	-

メモリ関連事項

OSにおける使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下の通りです。
 (搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります。)

OS	使用可能メモリ容量
Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	4GB
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	32GB
Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	32GB
Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	1TB
Windows Server® 2003, Standard Edition	4GB
Windows Server® 2003, Enterprise Edition	32GB
Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	32GB
Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	1TB
Windows® 2000 Server	4GB
Windows® Small Business Server 2003 R2	4GB
Windows® Small Business Server 2003	4GB
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	64GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	64GB
VMware® Infrastructure 3	64GB

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

<Windows関連>

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量(GB)	処理速度(MB/s)	Windows® 2000 Server				Windows Server® 2003, Standard Edition/Enterprise Edition				備考
					NTBACKUP	BrightStor™ ARCServe® Backup Release 11	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.1	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	NTBACKUP	BrightStor™ ARCServe® Backup Release 11	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.1	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	
RDX装置	PG-RD101	RDX	40 160	25	×	×	×	×		×	×		・メンテナンスフリー
LTO装置	PG-LT102 PGBT102C	LTO (Ultrium1)	100	16	×	×	×		Server Start	×	×		・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24	×	×			Server Start	×			
	PG-LT302 PGBT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64	×	×	×		Server Start	×	×		
	LT21HLB1	LTO2 (Ultrium2) ライブリ	1600	35	×	×	×			×	×	×	
	LT22HLC1	LTO3 (Ultrium3) ライブリ	6400	80	×	×	×			×	×	×	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT23**C**		16000		×	×	×			×	×	×	
DAT装置	PG-DT501	DAT72	36	3.0	Server Start				Server Start				・定期的なクリーニング必須
	PG-DT504				Server Start	×	×		Server Start	×	×		
	PG-DT5041				Server Start	×	×		Server Start	×	×		
	PG-DT5042				×	×	×	×	Server Start	×	×		
	PG-DT504D				Server Start	×	×		Server Start	×	×		

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量(GB)	処理速度(MB/s)	Windows Server® 2003, Standard Edition/Enterprise x64 Edition		Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/Enterprise Edition		Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition/Enterprise x64 Edition		Windows® Small Business Server 2003		Windows® Small Business Server 2003 R2		備考
					NTBACKUP	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	NTBACKUP	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	NTBACKUP	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	NTBACKUP	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	NTBACKUP	NTBACKUP	
RDX装置	PG-RD101	RDX	40 160	25											・メンテナンスフリー
LTO装置	PG-LT102 PGBT102C	LTO (Ultrium1)	100	16	Server Start		Server Start		Server Start		Server Start		Server Start		・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24	Server Start		Server Start		Server Start		Server Start		Server Start		
	PG-LT302 PGBT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64	Server Start		Server Start		Server Start		Server Start		Server Start		
	LT21HLB1	LTO2 (Ultrium2) ライブリ	1600	35	×		×			×		×	×		・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT22HLC1	LTO3 (Ultrium3) ライブリ	6400	80	×		×			×		×	×		
DAT装置	LT23**C**		16000		×		×		×			×	×		・定期的なクリーニング必須
	PG-DT501	DAT72	36	3.0	Server Start		Server Start		Server Start		Server Start		Server Start		
	PG-DT504				Server Start		Server Start		Server Start			×	×		
	PG-DT5041				Server Start		Server Start		Server Start			Server Start	Server Start		
	PG-DT5042				Server Start		Server Start		Server Start			×	×		
	PG-DT504D				Server Start		Server Start		Server Start			×	×		

記録容量/処理速度は非圧縮時の値。

NTBACKUPでバックアップした場合、各装置の処理速度よりも遅くなる場合があります。処理性能を重視される場合にはARCServeの使用をお勧めします。

ETERNUS LT230(LT23**C**) (SCSIモデル)をBrightStor ARCServeで使用する場合はTape Library Optionが必要です。

ETERNUS LT230(LT23**C**) (FCモデル)をBrightStor ARCServeで使用する場合はStorage Area Network (SAN) Optionが必要です。

内蔵LT02ユニット(PG-LT201/PGBT201C1)をBrightStor ARCServe Backup r11.1で使用する場合は、バッチを適用する必要があります。

内蔵DAT72ユニット(PG-DT504/PG-DT5041/PG-DT5042/PG-DT504D)をBrightStor ARCServe r11.5で使用する場合は、SP1を適用する必要があります。

Windows Server® 2003 R2 / Windows Server® 2003 x64 EditionsでBrightStor ARCServe r11.5を使用する場合は、SP1を適用する必要があります。

「ServerStart」はServerStart CD内のデバイスドライバを使用することを示します。

システム構成図留意事項

<Linux関連>

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量(GB)	処理速度(MB/s)	Red Hat Enterprise Linux						備考	
					5 (for x86)		AS (v.4 for x86)		ES (v.4 for x86)			
					NetVault 7	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	NetVault 7	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	NetVault 7	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5		
RDX装置	PG-RD101	RDX	40 160	25	x	x	x	x	x	x	・メンテナンスフリー	
LTO装置	PG-LT102 PGBT102C	LTO (Ultrium1)	100	16		x					・高信頼性が必要な基幹業務に適している	
	PG-LT201 PGBT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24		x						
	PG-LT302 PGBT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64		x						
	LT21HLB1	LTO2 (Ultrium2) ライブリ	1600	35		x		x		x	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能	
	LT22HLC1	LTO3 (Ultrium3) ライブリ	6400	80		x		x		x		
	LT23**C**		16000			x		x		x		
DAT装置	PG-DT501	DAT72	36	3.0		x					・定期的なクリーニング必須	
	PG-DT504					x		x		x		
	PG-DT5041					x		x		x		
	PG-DT5042					x	x	x		x		
	PG-DT504D					x		x		x		

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量(GB)	処理速度(MB/s)	Red Hat Enterprise Linux						備考	
					5 (for Intel64)		AS (v.4 for EM64T)		ES (v.4 for EM64T)			
					NetVault 7	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	NetVault 7	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5	NetVault 7	BrightStor™ ARCServe® Backup r11.5		
RDX装置	PG-RD101	RDX	40 160	25	x	x	x	x	x	x	・メンテナンスフリー	
LTO装置	PG-LT102 PGBT102C	LTO (Ultrium1)	100	16		x					・高信頼性が必要な基幹業務に適している	
	PG-LT201 PGBT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24		x						
	PG-LT302 PGBT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64		x						
	LT21HLB1	LTO2 (Ultrium2) ライブリ	1600	35		x		x		x	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能	
	LT22HLC1	LTO3 (Ultrium3) ライブリ	6400	80		x		x		x		
	LT23**C**		16000			x		x		x		
DAT装置	PG-DT501	DAT72	36	3.0		x					・定期的なクリーニング必須	
	PG-DT504					x		x		x		
	PG-DT5041					x		x		x		
	PG-DT5042					x	x	x		x		
	PG-DT504D					x		x		x		

記録容量/処理速度は非圧縮時の値。

留意事項

Windows関連事項

Windows Server® 2003 R2 プレインストールタイプのOSについて

Windows Server® 2003 R2, Standard Editionのダウングレード権を使用してWindows® 2000 Serverをインストールすることができます。
その際のメディアとプロダクトキーについてはWindows® 2000 Serverのパッケージ、Open License、Select、他のPRIMERGYの
Windows® 2000 Serverプレインストールタイプに添付されているものをご使用ください。
(BX620 S4/RX200 S4/RX300 S4/RX600 S3/ECONEL 100/TX120/TX150 S6/TX300 S4では未サポートです。)

Windows Server® 2003 R2, Standard Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Standard Editionをインストールすることができます。
またWindows Server® 2003 R2, Enterprise Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Enterprise Editionをインストールする場合
についても同様です。（ TX200FT S3/TX150FT S5では未サポートです。）

Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionのダウングレード権を使用してWindows® 2000 Serverをインストールすることができます。
その際のメディアとプロダクトキーについてはWindows® 2000 Serverのパッケージ、Open License、Select、他のPRIMERGYの
Windows® 2000 Serverプレインストールタイプに添付されているものをご使用ください。
(BX620 S4/RX200 S4/RX300 S4/RX600 S3/TX120/TX150 S6/TX300 S4では未サポートです。)

Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Standard x64 Edition、あるいは
Windows Server® 2003, Standard Editionをインストールすることができます。またWindows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Editionの
ライセンスを使用してWindows Server® 2003, Enterprise x64 Edition、あるいはWindows Server® 2003, Enterprise Editionを
インストールする場合についても同様です。

Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003 R2, Standard Editionを使用することができます。
またWindows Server® 2003 R2, Standard Editionを使用してWindows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionを使用することができます。
Enterprise Editionにおいても同様です。（ TX200FT S3/TX150FT S5ではWindows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Editionを使用することは
できません。）その際のメディアとプロダクトキーについては他のPRIMERGYに添付されているメディア、もしくは正規に入手したボリュームライセンス用の
メディアをご使用ください。新規にボリュームライセンス用のメディアを入手するには、別途Windows Server® 2003のボリュームライセンスを導入する
必要があります。

Windows Server® 2003 R2 x64 EditionsのOSインストールについて

Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition/Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 EditionのOSを
インストールするために別途DVDドライブを手配する必要があります。

システム構成図留意事項

Linux関連事項

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプについて

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、Linux OSをお客様に代わってインストールするサービス[インストール代行サービス] をPRIMERGYにバンドルして出荷いたします。

Linuxシステムにおけるバックアップソフト

Linuxにおいてバックアップ装置をご使用になる際には、以下のソフトウェアがご使用いただけます。

ディストリビューション	単体バックアップ装置	ライブラリ系バックアップ装置
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	NetVault 7/BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NetVault 7
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	NetVault 7/BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NetVault 7
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	NetVault 7	NetVault 7
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	NetVault 7/BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NetVault 7
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	NetVault 7/BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NetVault 7
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	NetVault 7	NetVault 7

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ブロックデバイスの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ブロックデバイスの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ブロックデバイスの使用可能最大サイズ
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB	8TB未満
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB	8TB未満
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB未満
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB	8TB未満
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	64GB	8TB未満
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	64GB	8TB未満

ディスクレスタイプのサポートについて

ディスクレスタイプにおけるLinux関連情報については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/>) を参照下さい。

また、サポートを必要とされるお客様につきましては、サービス一覧の「保守サービスSupportDesk (Linux/OSS)」を参照ください。

サポート対象ディストリビューション()

- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)

サポートディストリビューションは、本体装置により異なります。

Linuxのサポート版数について

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプのインストール版数、および弊社PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照下さい。

